

会 告 (I)

日本鉄鋼協会第 57 回 春季講演大会講演募集

明春 4 月 2, 3, 4 日 (予定) 東京都東京大学において開催の講演大会において講演御希望の方は下記要領お含みの上奮ってお申込み下さい。

- (1) 講演申込期日 昭和33年12月10日の締切を励行いたします。
- (2) 講演申込先 東京都千代田区丸ノ内2の10仲14号館1号
日本鉄鋼協会宛
- (3) 申込用紙 添付の申込用紙に当該事項記入の上切り取つて原稿と共に御送付下さい。
(講演時間は 20 分以内とします)
- (4) 講演前刷用原稿
前刷原稿については必ず次の各項を厳守願います。
 - イ) 原稿は研究の内容が十分了解できるようにして下さい。(書き方は「鉄と鋼」寄稿規定に準じて下さい。)
 - ロ) 原稿用紙は必ず協会所定の用紙を用いて下さい。
 - ハ) 原稿用紙の枚数は図、写真、表を含み7枚以上11枚以下にして下さい。
 - ニ) 図または写真1つが原稿用紙1枚に相当するものとして計算して下さい。ただしその数は5つを限度とします。なお Fig. 1.(a) (b) (c) (d) などの併列図は紙面を多くとりますので採用致しません。
 - ホ) 表は本文中に含ませ、別紙にお書きにならぬように願います。
 - ヘ) 図面および数表中の文字は必ず英文にてお書き下さい。
 - ト) 図、写真、表は散逸を防ぐため右下角に著者名を記入して下さい。
 - チ) 図、写真の大きさは原稿用紙と同じ大きさまたは倍の大きさにして下さい。
 - リ) 小さい図、写真は原稿用紙に添付して下さい。
 - ヌ) 原稿をホチキスで止めないで左上部角をピンまたはクリップで止めて下さい。
 - ル) 原稿には講演題目(英訳併記)勤務先、氏名を明記して下さい。
(講演者には○印をつけて下さい)
 - オ) 英文氏名は M. Hashimoto のごとくして下さい。

以上の規定に違反された場合は編集委員会で適当に処理致します
協会所定の原稿用紙は1冊30枚綴り 30 円、送料 8 円でおわけしますから 1, 2 冊の場合は郵便切手を封入して申込んで下さい。
- (5) この講演前刷は会誌「鉄と鋼」昭和 34 年 4 月号として刊行致しますので編集および印刷の都合上締切後の受付は致しませんから原稿は期日までに必ず御送付願います。
- (6) 講演される方は会員に限りますので、会員外の方で講演希望の方は入会の手続終了後御申込み下さい。
- (7) 講演会場における講演用図表寸法は横 1,200mm以内、および図表掲示場所は二カ所以内と致します。

切取り線

受付番号*	受付年月日	*昭和	年	月	日	原稿枚数	本文一	枚	表(本文中に)	表	図一	図	写真一	葉
	講演題目	講演題目	講演題目	講演題目	講演題目	講演題目	講演題目	講演題目	講演題目	勤務先	勤務先	勤務先	勤務先	氏名(講演者○印)
和														
英														
文														

講演大会講演申込用紙 *印協会事務局で記入

会 告 II

第1回自動制御連合講演会

主催学協会 計装研究会・自動制御研究会・中部自動制御研究会・
日本機械学会・日本計測学会・日本自動制御協会・日
本繊維機械学会

参加学協会 日本鉄鋼協会・応用物理学会・化学工学協会・電気学
会・電気通信学会

日時及び場所

1. **学術講演会** 昭和33年11月11日(火)・12日(水)
午前9時～午後5時 大阪市北区堂島西町
大阪商工会議所

前刷御希望の方は代金440円(1冊400円, 送料40円)を添えて
10月20日までに日本自動制御協会(京都市左市区山端一丁目
京都大学工学研究所修学院分室内)宛お申込み下さい。

2. **特別講演会** 昭和33年11月11日(木)午前10時～午後3時
大阪市東区平野町5丁目 大阪瓦斯ビル講堂

特別講演会次第書

昭和33年11月13日(木)午前10時 大阪瓦斯ビル講堂

電子計算機と通信機械による経営のオートメーション

小野田セメント 南 沢 宣 郎

プロセス制御の新傾向 電気試験所 寺 尾 満

プロセス計装の最近の動向

三菱化成黒崎工場 藤 田 威 雄

オートメーションとエレクトロニクス

電気試験所 和 田 弘

3. **懇親会** 昭和33年11月11日・午後5時30分
商工会議所地下食堂

御希望の方は会費500円を添えて日本自動制御協会宛(京都市
左京区山端一丁目 京都大学工学研究所修学院分室内)

10月30日までにお申込み下さい。

会 告 (III)

フ ラ ン ツ ・ ウ エ ー ア ー 博 士 特 別 講 演 会
開 催 御 案 内

ドイツ、マックス・プランク鉄鋼研究所長フランク・ウエーファー博士は八幡製鉄など13社の招聘により去る9月末来朝され約1カ月半の予定で各社および大学研究所などの研究指導に当たっておられますが、本会および日本金属学会の要請により名古屋および東京において特別講演を行うことを快諾されました。名古屋においては秋季講演大会の際行うことを既に会告しましたが、東京においては下記要領により講演会を開催いたします。御承知の通り博士はドイツばかりでなく世界における鉄鋼材料界の最高権威の一人であります。お誘合せの上多数御来聴下さるよう御案内申し上げます。

記

日 時 昭和33年11月13日 (木) 14:00~16:00
会 場 日本相互銀行8階ホール (東京都中央区八重洲2の1)
演 題 鋼の熱処理の基礎的問題について
講 師 Franz Wever 博士 (通訳 八幡製鉄 森 正治氏)

鉄鋼および非鉄金属改正 JIS 分析法解説講習会

日本鉄鋼協会関西支部・日本金属学会関西支部・日本分析化学会近畿支部・日本材料試験協会関西支部共催
日本規格協会関西支部・大阪府技術協会後援

鉄鋼、非鉄金属および鉱石などについて JIS 分析法の解説講習会は、昭和30年に実施しましたが、その後制定または改正された点が多く、これらの方法について直接関係された各権威者に解説していただく分析化学の発達に資するとともに、あわせて JIS 法の普及をはかりたいと考え、つぎのような講習会を企画いたしました。何とぞ多数御参加下さるようおすすめ申し上げます。

1. 場 所 大阪府立工業奨励館 (大阪市西区江の子島 市電川口町下車)
2. 日 時 昭和33年10月22日(水)、23日(木)、24日(金)の3日間午前9時30分より
3. 講演題目

第1部 (鉄鋼および鉄鉱石)

- 10月22日(水) 鉄鋼化学分析法 (5元素) 荒川三千夫氏、鉄鋼化学分析法 (特殊成分その1) 福原 修氏
鉄鋼化学分析法 (特殊成分その2) 細田 薫氏、
- 10月23日(木) 鉄鋼分光分析法 三好 敏氏、鉄鉱石およびマンガン鉱石分析法 吉野義則氏

第2部 (非鉄金属および鉱石)

- 10月24日(金) 非鉄金属および鉱石化学分析法 服部只雄氏、アルミ地金および合金、チタン合金化学分析法 橋本鹿雄氏、非鉄金属分光分析法 吉野 弘氏

4. 聴講料

	第1部 (鉄鋼)	第2部 (非鉄金属)	第1, 2部共
会 員	600円	300円	800円
会 員 外	700円	400円	1000円

聴講料は申込みと同時に御送金ねがいます。

5. テキスト 第1部: 鉄鋼 G1201, G1211 より 31 まで、第2部: 非鉄金属 H1011, 1101, 1111, 1113, 1123, 1141, 1301, 1303, 1401, 1501~2, 1551, M8121~4, 8401 番号の規格票を使用します。
なお、当日会場にても日本規格協会関西支部より出張販売します。

6. 申込締切 昭和33年10月18日まで氏名、勤務先、通信連絡先、所属学協会、聴講部門、(第1部、第2部、第1, 第2部) 送金額、及びテキストの有無を記入した申込書で御申込み下さい。

7. 申 込 先 大阪市西区江の子島 大阪府立工業奨励館
日本鉄鋼協会関西支部・日本金属学会 関 西 分 析 研 究 会

会 告 (IV)

第8回品質管理大会 デミング賞行事

第8回品質管理大会は国際会議なみの劃期的な開催形式と方法を採用することに致しました。参加費3000円で、QC推進者の方々が食事を共にし、パーティで酒の杯をくみあわせて親睦交歓の実を挙げ、特に大会の中心をなす討論会は今回始めて分科討論会をあわせて行うことになりました。奮って御参加の上御活躍をお願い致します。

主催 日本科学技術連盟, 日本鉄鋼協会外 21 団体
会期 昭和33年11月25日(火), 26日(水), 27日(木)の3日間各日9時~16時 (ただし第1日のみ8時30分~9時30分参加登録のため9時30分~16時30分)
会場 学士会館 (東京都千代田区神田錦町3-28)

プ ロ グ ラ ム

報告講演討論会 第1日: 11月25日: 9時30分~16時30分
 第1会場—一般部会・繊維部会, 第2会場—測定部会・検査部会, 第3会場—官能検査部会・金属部会
 第2日: 11月26日: 9時~12時
 第1会場—電機・機械部会, 第2会場—化学部会, 第3会場—金属部会
分科討論会 第2日: 11月27日: 13時~16時
総合討論会 第3日: 11月27日: 9時~12時
デミング賞行事 第3日11月27日: デミグン賞授賞式 13時15分~14時15分
 デミング賞授賞者報告会 14時20分~16時

品質管理大会記念パーティ 第3日: 11月27日: 17時~18時30分

なお金属部会の講演題目と講演者は下記の通り。

鋼材材力値におよぼす製造要因の統計的解析……………日本製鋼・室蘭製作所 藤田 春彦
 圧延全長のバラツキによる歩留り低下に対する対策の一例……………
 富士製鉄・釜石製鉄所 坂東 保明・大塚 家親・井上 俊朗
 鋼材製造に関する工場実験のためのBIB型配置をふくむ実験計画について……………
 富士製鉄・釜石製鉄所 坂東 保明・穂坂 有郎
 コークス炉の操業条件の解析……………日本鋼管 宮津 隆・岩田 智次・樺 猛
 コークス炉副産物回収工程における工程管理について……………富士製鉄・釜石製鉄所 神坂 栄治
 外注工場に対する技術指導の一例……………松下電工 小笹 稔
 題 未 定……………川崎製鉄・千葉製鉄所 仁木 誠之助

参加費1名に付3,000円 (講演予稿集・昼食代(3回)パーティ代をふくむ)

参加申込に対する注意

- 1) **申込締切期日**: 11月15日まで必着のこと。
- 2) **申込先**: 東京都中央区京橋1-2 (大阪商船ビル内) 日本科学技術連盟内QC大会準備委員会
- 3) **申込書**: 整理上必ず規定様式のもの (上記申込先に御連絡下さればお送りいたします) を使用し1人1枚とすること。
- 4) **申込方法**: 上記申込用紙に1人3,000円を添えて申込まれたい。
 取引銀行 富士銀行八重洲口支店 日本科学技術連盟口座 振替番号東京 179652 番
- 5) 分科会は、1つの分科会の参加の御希望が集中することもありますから必ず第2希望まで御記入下さい。分科会所定員数までは申込順で決定いたします。
- 6) 申込受附後直ちに参加受附カードを御送附致しますから、このカード持参の上第1日(11月25日)8時30分~9時30分に参加登録を願います。この折に参加章、資料、食事券などをお渡し致します。

講演報告予稿集予約募集

今大会の講演報告予稿集は月刊「品質管理」誌と全々別個に出されるものであります。参加費の中には1冊分は含まれていますが、予稿集だけ余分に御入用の方は予約お申込下さい。

申込先: 東京都中央区京橋1-2 (大阪商船ビル内) 日本科学技術連盟QC大会係

会 告 (V)

第3回原子力シンポジウム論文募集

日本学術会議、関係研究所、公社、学協会共催による「第3回原子力シンポジウム」は下記により開催されることになりました。今回のシンポジウムは、原子力関係の諸問題のうち、とくに「原子炉」の問題を重点的にとりあげて討議することになっておりますので、この趣旨を御了解の上、下記によりふるって論文を提出されるようおすすめいたします。

記

- (1) 日 時 昭和 34 年 2 月 12 日 (木) 13 日 (金)
- (2) 会 場 東京、神田、学士会館 (3 会場制)
- (3) 研究発表申込締切
 - (I) 題目、著者および連絡者の住所(講演予定者に○印)を必ずはがきに記入の上、11月15日までに提出すること。
 - (II) 研究発表申込者には学術会議よりアブストラクト用の用紙(規定のもの)を送る。
 - (III) 申込者はアブストラクトを 11 月 30 日までに学術会議に到着するよう送付すること。
- (4) 申込先 東京都台東区上野公園内日本学術会議「第3回原子力シンポジウム係」
- (5) 討論の対象となる主題
 - (a) 核燃料資源の探鉱法(鉱床自体の研究を除く)
 - (b) 核燃料鉱石選鉱、製練および核燃料の加工に関する諸問題
 - (c) 原子炉材料の製造の研究(材料の分析は除く。ただし製造に関係ある化学分離法を含む。同位体分離、シールド物質の研究をふくむ。)
 - (d) 原子炉の理学および工学(原子炉の原理、設計など)
 - (e) 原子炉の操作、運転およびこれに伴って生ずる産物の処理(核燃料再処理、原子炉よりの廃棄物処理をふくむ。原子炉における照射によつて生ずる産物に関する研究を除く)
 - (f) 保健物理(環境汚染の問題、人体の医学的処理事項を除く)なお、放射性アイソトープの生産、処理およびその利用に関する研究は、今回はすべて原子力産業会議主催のアイソトープ会議に一任しますから、おふくみおき下さい。
- (6) シンポジウムの行い方
 - (I) 一般講演の他にパネル討論および総合講演を行う。
 - (II) 応募論文は論文選考委員会の審議を経たのち、すべて報文集に印刷掲載する。
 - (III) 口頭発表は、応募論文のうちより、論文選考委員会が選んだもののみについて行われる。

第2回塑性加工講演会およびシンポジウム

高分子学会、精機学会、塑性加工研究会、日本機械学会、日本金属学会、日本鉄鋼協会連合にて塑性加工講演会およびシンポジウムを下記要領により開催いたしますので会員多数の御聴講を希望します。

記

- 開催日 昭和 33 年 11 月 13 日 午前午後: シンポジウム 夜: 晩餐会
11 月 14 日, 15 日: 講演会
- 会 場 シンポジウムおよび講演会
東京都立工業奨励館(港区芝海岸通り, 国電浜松町駅下車海岸方面へ徒歩約7分)
- 晩餐会 学士会館(千代田区神田錦町3の28 都電 一橋下車)

1. 第2回塑性加工シンポジウム

題目および講師

- 11 月 13 日 (木) 午前の部 10 時開会
- | | | | |
|---------------------------------|--------|-----|---|
| (1) 板の熱間圧延におけるロールキャンバーについて..... | 日本鋼管鶴見 | 高 橋 | 明 |
|---------------------------------|--------|-----|---|
- 午後の部 13 時 10 分開会
- | | | | |
|-----------------------------|---------|-----|-----|
| (2) 冷間圧延薄板の肉厚制御の現状と問題点..... | 東 洋 鋼 板 | 久 能 | 一 郎 |
| (3) 肉厚制御の実験例について..... | 特 殊 金 属 | 藤 沢 | 寛 一 |
| (4) 圧延機の電気制御方式と機器..... | 東 芝 府 中 | 尾 山 | 純 一 |

2. 塑性加工専門講演会(講演数 32)

前 刷 上記シンポジウムおよび講演には前刷りがありますから、下記書式(書式は日本機械学会へ御請求下さい)により11月5日まで着信するよう代金を添えてお申込み下さい。

シンポジウムテキスト: 定価1冊金 100円, 講演前刷: 定価1冊金 300円(送費負担)

申込先 東京都中央局区内千代田区丸の内2の2 丸ビル 561 区 日 本 機 械 学 会

日本鉄鋼協会北陸支部 秋季講演会, 見学会御案内 金属学会北信越支部

つぎの通り来る 11 月 9, 10 両日, 支部秋季講演会, 見学会を開催いたしますから多数御参加下さるよう御案内申し上げます。

1. 講演会

日 時 昭和 33 年 11 月 9 日 9:00~16:15
会 場 富山大学工学部 (高岡市古定塚)

プログラム

時 間	題 目	講 演 者
9:00~9:05	開 会 挨拶 日本金属学会北信越支部長, 日本鉄鋼協会北陸支部長	菊 池 浩 介
1. 9:05~9:25	ニッケル銑より Fe-Ni を造る際の脱鉄の場合に起る諸変化について 富山大学工学部	森 棟 隆 弘 介 ○平 沢 良 介
2. 9:30~9:50	砂鉄の還元条件が銑鉄成分におよぼす影響について (砂鉄の電気炉製錬法に関する研究 I) 日曹製鋼 呉羽製鉄	村 上 明 清 高 井 清 介 ○佐 藤 祐 一 郎
3. 9:55~10:15	フェロマンガン銑滓の比熱について 東 化 工	田 辺 伊 佐 雄 一 定 奥 幸 一 定
4. 10:20~10:35	分析学上よりみたるフェロシリコン 中央電気工業	桐 野 利 一 定
5. 10:40~11:00	砂鉄製酸化粒銑および還元粒銑の開放電気炉による製錬実験 (幻) 日曹製鋼・富山工場	垣 内 富 士 雄 草 島 行 雄 山 本 隆 夫 木 村 皓 志
6. 11:05~11:20	クロム鋼の焼戻過程について (第 7 報) (幻) 金 大 理 学 部	竹 村 松 男 志
7. 11:25~11:40	Al 板の結晶粒度に関する一実験 (幻) 北 陸 軽 金 属	池 野 尚 志
8. 11:45~12:00	ブドウ酒醸造工業におけるアルミニウムおよびその合金の利用について (第 6 報) (幻) 東 京 工 大 森 永 卓 一 山 梨 大 工 ○財 満 鎮 雄 " 加 賀 美 元 男	
12:00~13:00 中 食 休 憩		
6. 13:00~13:15	温度並びに添加物によるスラッグ性状の変化について (幻) 富 山 大 工 ○養 田 実 " 平 木 道 幸 " 高 木 藤 一 郎	
10. 13:20~13:35	Cu-Fe 合金の時効に関する研究 (幻) 不 二 越 鋼 材 工 業	萩 野 喜 清
11. 13:40~13:55	Al-Cu 合金鑄物の減衰能についての一考察 (幻) 東 京 工 大 森 永 卓 一 山 梨 大 工 財 満 鎮 雄 " 清 水 邦 夫	
12. 14:00~14:20	低炭素フェロクロムの含有ガスと非金属介在物について (幻) 東 化 工 田 辺 伊 佐 雄 " 細 野 義 則 " 増 山 嘉 男	
13. 14:25~14:45	マグネシア飽和石灰-酸化鉄系溶融銑滓の酸素および各成分の活量 大 阪 大 工 足 立 彰 日曹製鋼, 岩瀬 ○嶋 田 修 造	
14. 14:50~15:05	連続鑄造による 2, 3 の要点 富 山 大 工 室 町 繁 雄 " 多 々 繁 静 夫	
15. 15:10~15:25	マグネシウムの凝着温度範囲および粒度について 富 山 大 工 池 田 正 夫	

会 告

- | | | | | | |
|-----|-------------|---|----------|-----|-----|
| 16. | 15・30～15・45 | フエロアロイの熱膨脹係数について | 日本鋼管, 富山 | 三 須 | 昭 |
| 17. | 15・50～16・15 | 定量分光分析のチタニウム精錬工業への応用 | 日 曹 | 小 田 | 仲 彬 |
| | | 第1報 四塩化チタニウム中の Si, V の定量分光分析 | 〃 | 角 尾 | 貞 之 |
| | | 第2報 Addition 法による四塩化チタニウム中の V. (Si) の定量分光分析域の拡大について | 〃 | 橋 本 | 利 雄 |
| | 16・20～16・25 | 閉 会 の 辞 | | | |

2. 見 学 会

集合日時 昭和33年11月10日 午前9時
 集合場所 高岡駅前商工奨励館前
 見学工場

工 場 名	営 業 品 目
1. 新 興 工 業 (株)	輸 出 向 各 種 織 物 染 色 加 工
2. 北 陸 軽 金 属 工 業 (株)	アルミニウム圧延板, アルミニウム瓦および建築用材, アルミニウムおよびアルマイト製厨房用品, アルミニウム鋳物製厨房用品
3. 金 田 ス キ ー 製 作 所	高 級 ス キ ー
4. 波 多 製 作 所	バ ッ ト, ス キ ー, ラ ケ ッ ト
5. 太 平 木 工 (株)	木 製 玩 具

見 学 順

新 興 工 業 → 北 陸 軽 金 属 工 業 → 林 道 鉦 泉 (中 食) → 桜 ヶ 池 観 光 →
 麦 屋 お ど り 観 賞 → 金 田 ス キ ー 製 作 所 → 小 牧 ダ ム → 瑞 泉 寺 →
 大 平 木 工 → 波 多 製 作 所 → 高 岡 駅

見 学 会 費 バス代および中食代 200 円

3. 申 込 締 切 日

昭和33年10月31日

氏名, 勤務先名, 職名, 見学会参加の有無を明記の上, 当支部 (富山県新湊市中伏木 214, 日本鋼管株式会社 富山電気製鉄所内) 宛お申込願います。

なお見学会参加費は講演会当日, 受付に納入して下さい。